

淑徳大学／みよしコミュニティ・カレッジ 2015

明治・大正時代の流行歌と当時の日本人の情念

明治初期は、まだまだ和楽器と日本独自の旋律・内容・発声法が主流でしたが、一方で、軍隊と学校教育を通して、日本は音楽の西洋化を進めていきました。分かりやすいヨナ抜き音階と2拍子と4拍子系の行進用のリズムが徐々に世間に広まります。それは今までの日本にはない、ビート＝はっきりした「節」のある音楽でした。下駄や草履の生活から靴の生活になったことも、日本人の歩行スタイルを変え、リズム感を変えていきました。

また、〈～ぶし節〉と呼ばれる、洋楽器を伴奏の上に日本的旋律や内容を載せた歌が徐々に量産されるようになり、地方では「新民謡」が作られました。大正時代、都市では、モダンな生活を歌い込み、洋風のメロディを持った歌も生まれました。一方、官製「唱歌」ではない、子どものための「童謡」が作られるようになりました。国産蓄音機が売り出されたのは、大正元年でした。

2回の講座ではありますが、歌詞を味わい、音源を聞きながら、当時の日本の流行歌に込められた情念を振り返ってみましょう。

講師：淑徳大学 経営学部 教授 岩村 沢也

上智大学外国語学研究所 国際関係論専攻 博士後期課程満期退学、専門：音楽の国際関係、地域おこしの社会学

開催日	テーマ名
第1回 3月10日(木)	「明治の流行歌 官営「流行歌」の勢いと民衆の情念 和と洋のせめぎ合い」
第2回 3月17日(木)	「大正時代の流行歌 メディア出現と表出の時代へ 舞台とレコードから流れる流行歌、唱歌から童謡へ」

●会 場 三芳町立藤久保公民館 三芳町大字藤久保185番地1 電話：049-258-0690

(東武東上線鶴瀬駅西口から徒歩15分 ライフバスみふじ幼稚園入口下車5分)

●時 間 19時00分～20時30分

●定 員 なし

●受講料 1,000円(全2回分)

※お申込み後、郵便振替用紙をお送りします。

●共 催 淑徳大学・三芳町
三芳町教育委員会



●申込方法 はがき・FAX・[申込フォーム](#)のいずれかで、下記事項をご記入の上お申込みください。

①講座名 ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤電話番号 ⑥FAX番号

⑦年齢 ⑧性別

※FAXでお申込みの方は、下欄をご使用ください

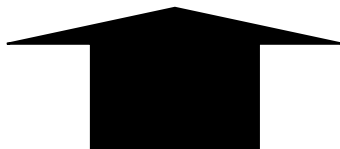
(ご記入いただいた個人情報は、コミュニティ・カレッジ以外の目的には使用いたしません)

●申込〆切 **2016年3月7日(月)**

●申込先

〒354-8510 埼玉県入間郡三芳町藤久保 1150-1 埼玉キャンパス 総務部

TEL049-274-1511 FAX049-274-1521 [申込フォームはこちら](#)



淑徳大学 埼玉キャンパス 総務部 行

淑徳大学／みよしコミュニティ・カレッジ
FAX参加申込用紙
(FAX 049-274-1521)

*下記事項をご記入の上、FAXしてください

①講座名	明治・大正時代の流行歌と当時の日本人の情念
②郵便番号	—
③住所	
④氏名(ふりがな)	
⑤電話番号	()
⑥FAX番号	FAX あり ・ なし 電話番号と同じ ・ 違う ()
⑦年齢	才
⑧性別	男性 ・ 女性